

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第21号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成22年3月20日（土） 21時45分ごろ	
発生場所	青森県青森市青森港フェリーターミナル第2バース 青森港沖館西防波堤灯台から真方位210°494m付近 （北緯40°50.71′ 東経140°43.13′）	
事故等調査の経過	平成22年4月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客船 3号はやぶさ、2107トン 135353、共栄運輸株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	本船 左舷船尾部に長さ約2.2m、幅約1.2mの凹損 岸壁 上部モルタル欠損及びゴムフェンダー裂傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか12人が乗り組み、乗客30人及び車両24台を載せ、青森港フェリーターミナル第2バース（以下「第2バース」という。）に前進行きあしで接近中、強風で船尾が圧流され、舵、機関、バウスラスタを使用して態勢を直そうとしたが、平成22年3月20日21時45分ごろ左舷船尾部が第2バースに衝突した。 車両に損傷はなかった。	
気象・海象	本事故発生場所の南東約6kmに位置する青森地方気象台による事故発生時間帯21時40分～50分の気象観測値は、次のとおりであった。 気象：天気 曇り、風向 北西、風速 5.5m/s～7.2m/s、最大瞬間風速 7.9m/s～14.2m/s 海象：潮汐 下げ潮の初期、波高 約3m、うねり 約1m 特記事項：本事故当時、21時35分青森県東青地域には、暴風及び波浪警報が発表されていた。 船長の回答書によれば、次のとおりであった。 風向 北北西、風速 約20m/s	
その他の事項	本船は、船尾が圧流された後、機関を両舷スロー後進にし、続いて、左舵一杯、左機関半速後進、右機関微速前進、バウスラスタを左へ全力として態勢を直そうとしたが、約1分で第2バースに衝突した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、青森港の第2バースに接近中、風で船尾が圧流され、バースに衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、暴風及び波浪警報が発表されている状況下、本船が、青森港	

	の第2バースに接近中、風で船尾が圧流されたため、同バースに衝突したことにより発生したものと考えられる。
--	---